



可部地区社会福祉協議会だより

130号

編集発行
可部地区社会福祉協議会
広報部会

印刷所 可部印刷(株)

福祉 あけぼの



太田川沿い、大野～中河内線の一部で土砂崩れ。車は通行止めとなり、バスは対岸を通行しています。



可部学区の避難所運営に協力する、可部学区自主防災会の皆さん。今回もお世話になりました。

自宅です不安な夜を過ごすより、 早めの避難の決断を

毎年のように豪雨に見舞われる日本列島。私たちの住む可部でも、8月に「お盆豪雨」とでもいうべき記録的大雨が続き、一週間に500mmを超す雨が降りました。土砂災害や洪水被害も頻発。避難所の可部小学校には、8月12日(木)～19日(木)に延べ68名が避難しました。

この8月の大雨。7年前の広島土砂災害時の雷と激しい雨を思い出した方も多かったのではないだろうか。夜間に激しく降る雨、そして毎日のように降り続く雨に、早めに避難を決断された多くの避難者の方が、各避難所で安心安全に夜を過ごしました。

情報もあり、地域や行政のスタッフもそろった場所、その中でも、8月の大雨。7年前の広島土砂災害時の雷と激しい雨を思い出した方も多かったのではないだろうか。夜間に激しく降る雨、そして毎日のように降り続く雨に、早めに避難を決断された多くの避難者の方が、各避難所で安心安全に夜を過ごしました。

情報もあり、地域や行政のスタッフもそろった場所、その中でも、8月の大雨。7年前の広島土砂災害時の雷と激しい雨を思い出した方も多かったのではないだろうか。夜間に激しく降る雨、そして毎日のように降り続く雨に、早めに避難を決断された多くの避難者の方が、各避難所で安心安全に夜を過ごしました。



2021年8月13日 高松橋より撮影
広島土砂災害から7年。川幅が2倍強となった根の谷川。今回の雨に持ちこたえました。

行ってみよう！地元のサロン

第2回 九品寺ゆうあいサロン

九品寺ゆうあいサロンの理念は、

1. 地域のひとり暮らしの方へのサポート
2. 地域の皆様のコミュニケーションの場
3. 地域の皆様へあらゆる知識の高揚への勉強の場

です。この理念を共有し、平成25年3月8日に誕生、その後何回も開催し、体操、ゲーム、外部講師による勉強会、レクリエーション等を実施しています。開催日を重ねるごとに、体力向上、知識の高揚、認知症予防に貢献し、クスリを少なくリスク回避、健康寿命の推進に力を入れています。

開催日は、毎月第2金曜日13時～15時で、学校方式により、校長、教頭、主事等17名で運営しています。運営委員は、町内会役員OB、福祉委員OB、福祉委員、町内ボランティア等で構成されています。

参加者の最高年齢は89歳で、若い方は70歳、皆さん楽しみながら元気に参加されています。行事予定はサロン終了後、反省会にて翌月分を決め、平成28年度まで同じことを繰り返していました。29年度から年間スケジュールを作ってはどうかと意見があり、スケジュール表を作成し、それに沿って実施しました。

ゆうあいサロンは、平成25年3月8日、九品寺の歴史から始まり、平成31年8

月に70回目で、延べ1598名の出席があり、月平均出席者は22名。これ以降はコロナ禍で中止になっています。

令和に年号が変わり、コロナ禍、社協より感染防止対策を講じた上でサロンの開催を認める基本文書を受け取りました。感染予防対策、手の消毒、検温、換気、マスク着用をし、テーブルは使用せずイスのみの使用として、令和2年10月9日、11月13日の2回サロンを開催しました。百歳体操30分後、ビデオ鑑賞や頭の体操30分、開催時間を1時間に短縮し、2回で54名の参加がありました。

今後も新型コロナウイルスの様子を見ながら、上手くつきあうほか無く、ワクチン接種により、楽しいゆうあいサロンが開催できることを念じています。



生活の、「今そこにある危機」に対応！ 安佐北区くらしサポートセンター

さまざまな理由で生活(くらし)に困っている方、ひとりで悩まず、まずはご相談ください。どうしたらいいかを一緒に考え、解決に向けてサポートしていきます。こんな時、遠慮なくご相談をお寄せください。

- ひきこもりなど、気になる家族がいる。
- 長い間仕事から離れていて、なかなか仕事が見つからない。
- 家賃が払えなくてアパートから退去を求められそう。
- 借金があって、生活が苦しい。
- 電気、ガス、水道を止められている。

など、社会福祉士資格を有する専任の相談員が相談に応じます。
※相談無料、秘密厳守です。
※対象は広島市内在住で、現在生活保護を受給されていない方です。

相談日時 平日8:30～17:15
(土日・祝日、8/6、12/29～1/3は除く)
場所 広島市安佐北区可部3丁目19-22
安佐北区総合福祉センター4階
安佐北区社会福祉協議会内
電話 082-815-1124
FAX 082-264-6413



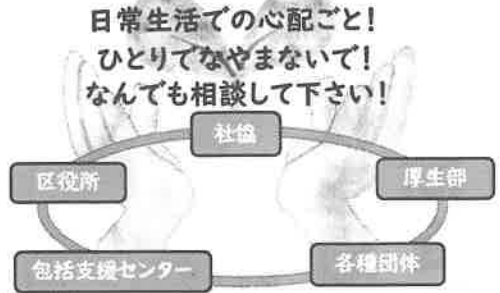
暮らしのお悩みや心配事、地域の困りごとなど、気軽ににご相談に乗る窓口事業が始まっています。「可部地区社会福祉協議会 社協活動活性化拠点」が、名前はちょっと大げさですが、要は、さまざまなお悩みの、解決のためのサポートをする、一番はじめの窓口とお考えください。内容、分野は問いません。ここが窓口となって、区役所の各種窓口、りんりん可部、安佐北区くらしサポートセンター、ひろしま北部若者サポートステーション、包括支援センターなどの、専門窓口と連携、どんなご相談にも対応します。お気軽に、お電話、または足を運んでみてください。秘密は厳守します。

可部地区社会福祉協議会 社協活動活性化拠点

生活のお悩み、心配ごと。まずは相談することから！
頼れる窓口があります。

「あなたとつくる みんなとつくる ささえあいのまち」

可部地区社会福祉協議会 社協活動活性化拠点 始動しています!!



日常生活での心配ごと！
ひとりてなやまないで！
なんでも相談して下さい！

開催日 毎週 月・火・木曜日(祭日除く) 午前10時～12時
場所 可部3丁目34-1
住所 可部3丁目34-1
電話 082-847-5509 (上記開催日のみ対応)
(りんりん可部と同じ電話です。拠点の担当者にお願ひしますと伝えて下さい。)
※ 秘密厳守、相談事は一切第三者に漏れることはありませんので安心してご相談下さい

地域の皆さんへ
誰でも気軽に立ち寄って、おしゃべりが出来る場所です。
ぜひお立ち寄りください。



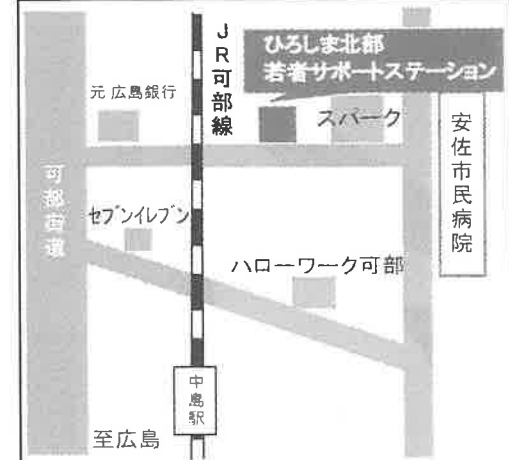
「はたらく」を「ココからはじめる!!」
ひろしま北部若者サポートステーション

ひろしま北部若者サポートステーション、サポステ・プラスは、働くということをメインにした相談窓口です。働くことを考えている15歳～49歳の方を対象に、悩みや不安などの声にじっくり耳を傾け、今後の方向性を一緒に考えていきます。

コロナ禍ということもあり、ウェブでの面談や、電話相談もOK。さまざまな支援プログラムに参加でき、個別相談では、常に担当職員がサポート。就職までのあらゆる相談に応じます。就職してからも、出てくる不安や悩みにも、もちろん個別にしっかりと対応してくれます。

まずは、電話、メールで予約を!

開所時間 月曜～金曜 9:30～17:00
(土日・祝日休み※第1土曜日のみ就職後の相談のため開所)
場所 広島市安佐北区可部南5丁目13-21
電話 082-516-6557
メール hiroshima-saposute@roukyou.gr.jp
※ご利用は無料です。
※対象 15歳～49歳までの方(学生を除く) およびその保護者、ご家族



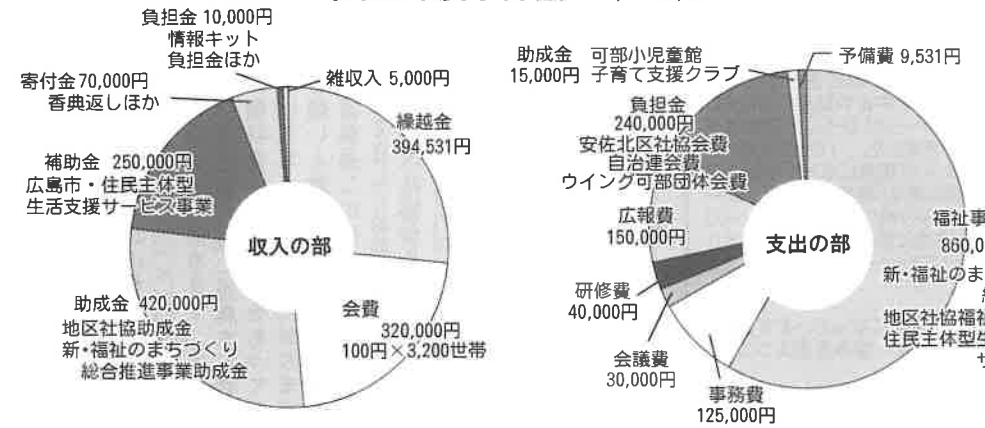
令和3年度 可部地区社会福祉協議会事業計画

昨年度に引き続き、今年度もコロナ禍による感染拡大防止のため、総会の開催を断念、総会議案書送付・決議方式で、今年度の事業計画が決定しました。

7月に開催予定の「学区ひまわりの会」は中止、昨年度同様11月をめどに記念品の配布に決定しました。ボランティアバンクも、ひろしま北部若者サポートステーション、新事業の社協活動活性化拠点事業は、引き続き実施。コロナの緊急事態宣言下、先が見通せない状況ですが、できる事には、創意工夫をしつつ取り組んでいきます。

- 令和3年度
可部地区社会福祉協議会役員
- 会長 勝岡 勝也
 - 副会長 増井 紘一
 - 副会長 宮本 昌明
 - 副会長 深川 康規
 - 副会長 渡辺 由紀子
 - 地域福祉推進委員 齊藤 ひとみ
 - 地域福祉推進委員 新居田 憲男
 - 事務局 黒田 正一
 - 事務局 川本 勇一
 - 事務局 長船 賢太郎
 - 事務局 新居 賢太郎
 - 監事 中村 克壯
 - 監事 田川 貴志子
 - 監事 中本 幸壮

令和3年度予算額 1,469,531円



- 令和2年度
幸壮(社協監事)
- 令和3年度
広島市社会福祉協議会会長表彰
社会福祉協議会関係功労者
(社協役員・評議員で、その功績が顕著な者。在職期間が10年以上の者)
- 令和元年度
広島市社会福祉協議会会長表彰
社会福祉協議会関係功労者
(社協役員・評議員で、その功績が顕著な者。在職期間が9年以上の者)
- 地域福祉功労者
(社会福祉の振興に顕著な功績のあった地区社協の役員・評議員等で、在職期間が9年以上の者)
- 広島市安佐北区社会福祉協議会会長表彰
- 宮本 昌明(社協理事副会長)
 - 土井 和正(町内会会長)
 - 小黒 繁行(町内会会長)
 - 上中 謙三(自治会会長)
 - 尾山 隆文(民生委員児童委員長)
 - 齊藤ひとみ(民生委員児童委員長)
 - 田川貴志子(民生委員児童委員長)
 - 福田 宏之(福祉委員)
 - 三谷 速(福祉委員)
 - 下二井保子(福祉委員)
 - 叶谷八千代(福祉委員)
 - 中本奈良子(福祉委員)

ボランティアバンク りんりん可部

りんりん可部では、日常のちょっとしたお困りごとのお手伝いをいたします。お気軽にご相談ください。

受付 毎週月曜日、火曜日、木曜日
月曜日 10:00~12:00
火曜日・木曜日 10:00~12:00
13:00~15:00

祝日、盆休み、年末年始を除く

りんりん可部事務局

☎ 082-847-5509

FAX 082-815-0756

住所 広島市安佐北区可部3丁目34-1

可笑屋 (かわらや) 2階

救急医療情報キット配布中!

救急車を呼んだ時や緊急時、飲んでい
る薬や、かかりつけ医院、持病の情報な
どを書いたシートを保管して迅速に対応
してもらおうための「救急医療情報キット」
を配布しています。

地域の福祉委員、可笑屋、増井書店で
取り扱います。

1組150円(ボトル、カード、ステ
ッカー)です。キットをお持ちの方も、
情報シートの書き換えをおすすめします。
新しい用紙をお渡ししますので、地域の
福祉委員にご連絡ください。



おくやみ

次の方々に香料をお供えし、
謹んでお悔み申し上げます。

(令和3年3月21日~令和3年8月31日現在)

杉本 ミツ子 様 可部八丁目 (城表)

真心に感謝

次の方々より心のこもった浄財を
いただき、感謝を申し上げます。

(令和3年3月21日~令和3年8月31日現在)

「香典返しに代えて」

栗栖 つき江 様 可部九丁目 (九品寺)

「一般の寄付」

竹岡 昭治 様 可部一丁目 (光善坊)

編集委員のつぶやき

黒田 正

ニュースといえばコロナのことばかり、気が滅入る今日このごろです。PCR検査をして陰性反応が出ても、そのあとに感染するかもしれない。ワクチンを接種して、そのあと無症状感染者となり町に出て人に感染させるかもしれない。ちょっとした気のゆるみが感染を拡大させるかもしれない。一人一人がお互いを思いやって、基本的な感染防止策をしっかり守って、協力し合いましょ。

香川和子

コロナ禍の夏。酷暑と大雨・長雨…体調を崩された方も多いたのでは
ないでしょうか。コロナワクチンを打っても中々安心できないと家に籠っ
ておられる方もいらっしゃるでしょう。いろいろ困っていることがあっても
どこに相談すれば良いかわからない。そういう場合にはぜひ今回の
特集を参考にして頂きたいと思ひます。一人で悩まないでください。

一川初子

広島にも8月27日から9月30日まで、3度目の緊急事態宣言が発令され
ました。楽しみにしていた行事が、次から次へと中止や延期になりました。
そんな中、「安佐北区くらしサポートセンター」と「ひろしま北部若者サ
ポートステーション」に取材に行くことができました。「くらしサポート
センター」では、社会福祉士の資格を持った人が親身になって相談にの
ってくださることを知りました。そして可部南にある「若者サポートステ
ーション」で目に入ってきたのは、「止まりさえしなければ、どんなにゆっく
りでも進めばいい」でした。どうしたらいいか本当に困ったとき、頼ることが
できる所があるということ、多くの人に知ってもらいたいと思ひました。

仁井美智子

新型コロナ対策が、日々変わる状況の中、急務になっています。個人
の日々の生活をどのように守っていけば良いのか、悩みを抱えつつ、毎
日を過ごすことが多々あります。

今回訪問した「安佐北区くらしサポートセンター」と「若者サポートス
テーション」は、とても大きなサポートが得られる身近な存在であると強
く感じます。悩んだときは相談。ひとりで悩んでも前進はなし。サポート
を得て新しい道が開けることを実感しました。明るい日々にしたいたいも
のです。

田川貴志子

コロナのせいもあってか、最近、いろんな手続きや問い合わせなどが
「ネット」で！になってきていますね。電話での自動応答もなかなか苦手
な人は、「もう、お手上げ！」と嘆くこと嘆くこと。買い物でも、若い人は
スマホの画面見せて、お店の人がサッとピッと、それで完了。ポイント
もつく。飲食店での注文も、タブレット端末から入力。タブレット端末も
なく、個人のスマホから、QRコード読み取って注文なんてお店もありま
す。何でもかんでもスマホで管理して、個人情報にはホントに大丈夫なの
か、とか、もし無くしたら…とか、アナログ派は、心配で心配で、夜も眠れ
ない…。ふ、古い!

皆様へのお願い

可部地区社協は、「弔事規定」によ
り、香典返しの生活改善運動の推進と
新たな財源探しに務めております。
平成六年より、地区住民の弔事に際して、
可部地区社協より香料二〇〇円をお供え
し、哀悼の意を表わしております。実施に
当っては、町内(自治)会長様に香典を立替
ていただき、領収書と会葬礼状をもって会
計室にご請求いただくこととしております。
皆様へのお願いと致しまして、生活改善
運動として、香典返しに代えてのご寄付を
可部地区社協まで宜しくお願い致します。
寄付金は可部地区社協会長宅に持参いた
だくか、連絡をいただければお伺い致します。
可部地区社協では、平成6年より地域住
民の弔事に際し、香料をお供えし哀悼の意
を表しておりましたが、この事業を令和3
年度(令和4年3月31日)を持って、終了
とさせていただきます。長年
のご協力、ありがとうございました。

